

三田村有純 第30回記念個展

黄 金 創 記

金と漆が創る世界



現代漆芸の

第一人者にして、江戸蒔絵

赤塚派第十代を継承する作家

の、20代初期作品から最近作ま

で、代表作品約50点で制作を回

顧。併せて江戸蒔絵赤塚派の系譜

をたどる明治・大正・昭和の名品

も展示し、三田村一族の漆芸を総

体的に展示。

2015年
9月20日(日)～10月25日(日)

時間 9時～19時

会場 白鷹町文化交流センター あゆーむ

(ギャラリイ) 〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝7331番地

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)

観覧料 一般個人300円 高校生以下無料

主催 白鷹町文化交流センター 後援 白鷹町、白鷹町教育委員会

問合せ 白鷹町文化交流センター TEL 0238-85-9071

三田村有純《光舞う刻》2008 日展出品作品

<講演I>

「白鷹町における奥山の資源と
里山の未来」

講師: 吉田博之

(白鷹町森林再生・木材コーディネーター、一級建築士)

<講演II>

「伝統文化が創る未来」

講師: 三田村有純

(東京藝術大学学長特命、美術学部教授)

<シンポジウム>

「海外が見る里山の魅力」

——観光と輸出産業再生のために

三田村有純

+ 藝大海外留学生・研究員(中国・ベトナム・オランダ) 3名

+ 吉田博之(白鷹町代表)

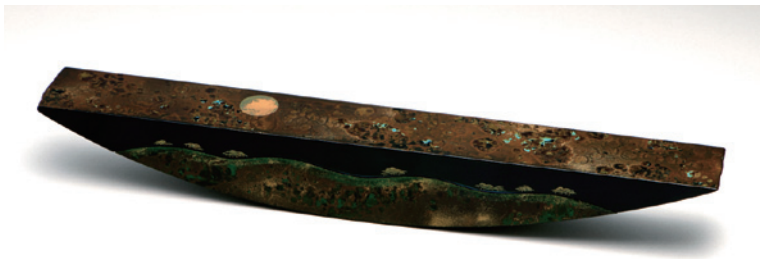
日時 = 10月3日(土) 13:30 開演

会場 = 白鷹町文化交流センター あゆーむ(ホール)

主催 = 白鷹町里山再生シンポジウム実行委員会



上左《刻のはざま》
 上中《アマ・かける・フネ》
 右《炎立つ》
 左中《天象緑意》
 下《松樹遠望》
 撮影：島崎真二郎



三田村有純 第30回記念個展

黄金創記

— 金と漆が創る世界 —



■ 三田村有純プロフィール

東京藝術大学学長特命・美術学部教授
 2013年日本現代工芸美術展「総理大臣賞」受賞
 2014年改組第1回日展「会員賞」受賞
 その他、海外展にて受賞多数

三田村有純
 Arisumi

作者は、江戸蒔絵赤塚派の十代目。その代々の家訓は「同じことをしてはいけない」。漆芸技術そのものは受け継ぐものの、作品そのものは作家本人の個性や時代に応じ、ふさわしいものが創られるべき、との理念から。だからこそ作者は、それを模索しながら実に様々な制作を行ってきた。

青年時代に自身の思いと格闘しながらものした「心の抽象」、その源流を幼少の記憶に求めた「昆虫の形」、一転、世界を旅しマヤやアステカ、エジプトの遺跡から受けた感銘を幾何学的フォルムで形象化した「遺跡の印象」、さらにエジプト、ギリシャの遺跡を歩くうちにそのロマンが宇宙の壮大さと結びついた「宇宙空間」・・・「その頃から、大きなもの、普遍なるものへの意識がより強まり、更に時空を超えた世界観を形にするようになりました(三田村)」

これら作者の時代ごとの代表作約50点が一堂に。更に、赤塚派七代赤塚自得、八代三田村自芳、九代三田村秀芳、さらには高井泰令の作品も展示し、作家のルーツにより深く迫る構成とする。(月刊美術より)

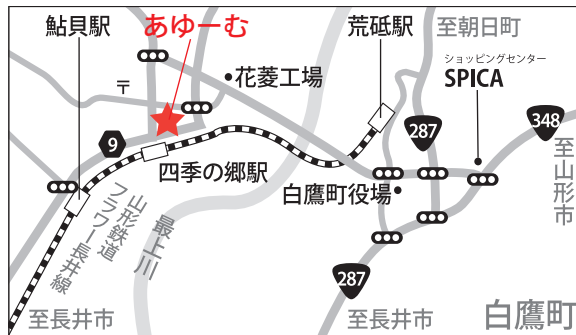
■ 会期中のあゆーむイベント

◎桂吉弥落語会

日時=9/22(日)13:30開演(13:00開場)
 会場=ホール
 入場料=一般 2500円(当日3000円)、高校生以下1500円(2000円)
 ※全席自由※未就学児入場不可
 チケット=白鷹町文化交流センターほか
 主催・問合せ=白鷹町文化交流センター

◎深山焼ミニ灯笼点灯コンサート「ゆらめき音楽会」

日時=9/26(土)16:45開場
 会場=交流広場(芝生)※雨天時ロビー
 入場料=無料
 内容=8/22、23に行った「深山焼ミニ灯笼をつくるワークショップ」の参加者作品にろうソクを入れ、点灯します。音楽の演奏もあります。



白鷹町文化交流センターAYU:M

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝7331番地

- お車で越しの場合/山形市より国道348号線で約35分
- 電車で越しの場合/赤湯駅より山形鉄道フラワー長井線〔荒砥行き〕で「四季の郷駅」下車(赤湯駅から約50分)徒歩約4分

お問合せ=TEL.0238-85-9071